

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		原子爆弾被爆者見舞金支給支援事業費[原子爆弾被爆者見舞金支給支援事業]										
予算科目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費	事業番号	30	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	障害福祉			課			庶務			係	課長名	大法 努
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 3			
【施策名】 障害者福祉の推進								総合計画書(ページ)	55			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	被爆者健康手帳の交付を受けている者 →					市内における被爆者健康手帳所持者						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
被爆者の福祉の増進に寄与する。 →					支給者数/市内における被爆者健康手帳所持者数							
③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
広島市及び長崎市に投下された原子爆弾の被爆者に対し、見舞金を支給する。 →					支給者数 16人							
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標	令和5年度目標			
	対象指標	①の数値	人	18	18	18						
	成果指標	②の数値	%	100	100	100						
	目標	②の目標値	人	19	18	18						
目標値設定の考え方 今後支給者数が増える見込みはないため、現状もしくは減少となる												
活動指標		③の数値	人	16	16	16						
3 経費	事業費(実績)		円	320,000	320,000	320,000		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	一般財源		円	320,000	320,000	320,000						
	特定財源(国・都・他)		円	0	0	0						
	(うち受益者負担)		円									
	所要人数(再任用以外)		人	0.05	0.05	0.05						
	所要人数(再任用)		人									
職員人件費(再任用以外)		円	415,500	419,000	412,500							
職員人件費(再任用)		円										
事業費+人件費		円	735,500	739,000	732,500							
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成3 年度									
	(2) 環境の変化		・平成3年4月から、被爆者健康手帳の交付を受けている者を対象として、被爆者1人につき年額20,000円を支給する事業を開始。毎年7月1日～7月31日の間に申請し、8月に支給している。 ・被爆者に対しては、国が被爆者援護法により、様々な支援(手当、医療費助成、介護料等)を行っており、市で補完する事業。 ・被爆者の高齢化により少しずつ減少傾向にある。※令和4年1月に対象者1名が逝去									

